

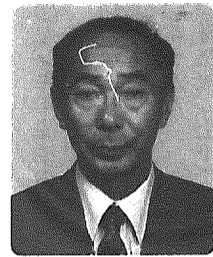


母なる大河のほとりて…(小須戸橋)



発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

平成17年 新年 あけまして おめでとうございます 小須戸地域の教育と課題



小須戸町教育長 古田 恒夫

国の教育改革の動きが目まぐるしく、少しでも目を離すと、どこがどう変わったのかわからなくなるほど急です。小・中学校に限っても、学校管理、教育内容、生徒指導教職員など、様々な分野で多彩な法令改正に基づく改革が進行中です。

法令改正を伴わない、学校選択制度、学期制の見直し、絶対評価への転換、学力調査の実施、情報開示の拡大なども同時進行中です。

一、開かれた学校づくり

今日の教育改革のテーマのひとつに「開かれた学校づくり」があります。

地域の人たちに公開し、どんな学校にきてもらって、交流を深め、学校の様子もたくさんの人たちに見てもらい、いろいろな行事を開催し、保護者や地域の人たちに信頼されるよう、町内の各学校は工夫・努力しているところです。学校が開かれているかどうかの目安としては次のことが考えられます。

一つは、学校の施設、設備などハード面、例えば、運動場や体育館、コンピュータ室や家庭科室、図書室等が開放されているか。

二つめに、授業参観も限られた日時だけでなく、授業参観週間等を設け、いつでもどの教室でも「教育活動を開いて」くれているか。時には地域の人を招いて子供たちに指導してもらったり、「総合学習」で、子どもたちが地域へ出かけ、訪問先で指導を受ける機会が活発に行われているか。

三つめは、学校が自己評価を行うにあたって、学校評議員やPTA総務会など、子どもや保護者等による外部の評価を取り入れ、しかも、その評価をありのままに地域住民に公表し、これからの学校運

営に活かしているかが問われています。

二、まじりのまちづくり

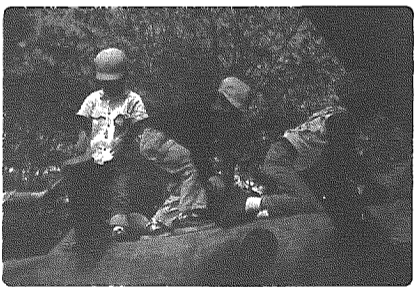
平成十二年の「まじりの町」宣言がなされて四年目が経過しました。まじりのまちづくり協議会では、これまで行ってきた内容を一部見直し、依然として減らない「いじめ」問題を扱った映画「ハードル」を上映し、二会場で一〇〇名を超える方々から鑑賞していただきました。

また、合併に伴って町議会が閉じられる前に、子ども議会を開催し、児童生徒から議会のルールや行政の取り組みの様子などを学ぶ機会を設定しています。半日ではありますが、両小学校六年生の傍聴、小・中学生代表十六名の議員で構成する「子ども議会」を一月十九日に開催します。この様子はインターネットでも公開する予定です。是非ご覧下さい。

さらに、小須戸地域の全家庭を対象に、主な学校行事の予定を入れた「まじりカレンダー」(四月から翌年三月まで)をお届けする予定です。

三、生涯学習の拠点づくり

年ごとに多様化・高度化していく地域住民のニーズに対応し、住民が自分に最も適した学習機会や方法を選択し、



楽しい園外体験

自発的、自主的に学習を行う

ことができる「場」が公民館です。

いまの小須戸町中央公民館は市町村合併によって小須戸地区公民館になります。館を持たない、いまの四分館は、地区館と連携し、運営方法の改善を図り、従来の事業が継続できるよう工夫が必要です。新・新潟市には、新潟市中央公民館(新潟市生涯学習センター開館後)の下に、二十二の地区館が配置され、各地区館が生涯学習の拠点になります。

なお、公民館運営審議会は地域の特色を活かした生涯学習を進めるため、合併後も存



わたしもついたよおもち

続し、引き続き地域の施策・課題について審議していくこととなります。

四、当面の教育課題

子どもたちの健やかな心身の成長と生涯学習の更なる充実を図るには、学ぶ場の環境を整えることが急務です。

いじめや不登校の解消、総合学習の充実、学校の外部評価の導入、二学期制の検討、真の学力の向上など多くの課題があります。また、十七年度は中学校校舎の一部改築に伴う設計の年になります。

新年を迎え、みなさまの健康とご多幸を願うと共に、災害のない年になることを願って、年頭のご挨拶といたします。

公民館運営審議会

- 議長 杉本 昭彦
- 副議長 堀川 英子
- 委員 大井 孝登
- 石井 三雄
- 木村 藤孝
- 井上 三重
- 中野 三武
- 荻原 富士子
- 八木 瑠美子
- 城丸 幸子
- 森田 玲子
- 川口 幸子
- 関田 幸子
- 藤田 幸子
- 小倉 修二
- 高橋 勲

恭賀新年 本年もよろしくお祝い申し上げます

中央公民館長 佐藤 貞夫

- 小須戸分館長 栄森 靖生
- 矢代分館長 小林 稔
- 横水分館長 野崎 迪夫
- 新保分館長 高山 光栄

館報編集委員会

- 委員長 馬場 高志
- 委員 渡辺 怜子
- 古川 和満
- 斎藤 彦彦
- 富重 雅子
- 委員 内山 和男
- 森田 義昭
- 村山 義昭
- 田山 義昭
- 保科 迪子
- 委員 委員
- 委員
- 委員

図書委員会

- 委員長 内山 和男
- 委員 森田 義昭
- 委員 田山 義昭
- 委員 保科 迪子
- 委員 委員
- 委員
- 委員

(敬称略)

シリーズ 活動の集大成

『でん・でん』とは？

私達の会の名前は「でん・でん」です。餃子の会ではありません。点字の会です。今年六月公民館と社協で共催した初心者点字教室から誕生しました。

受講生十名のうち八名で点字の勉強を続けています。点字講習を受けても一割程しか残らないのが通例で、先生方も驚いています。

会の活動は、月二回集まり文章を区切る練習をします。点字を打つ練習は、「加茂ともしびの会」から通信添削を受けています。

自宅学習はくじけそうになりますが、月二回仲間と顔を合わせると、また頑張れるようになります。

うな気がします。
十年たっても極められない点字の世界、十年後は何才になるかなど一切考えず、楽しみながら続けていきたいです。聞合わせは社協(38-5880)まで。会長 会田智子



楽しく、がんばりま〜す。

スポーツ大会結果

町民バドミントン大会

十二月二十八日(日)小須戸町民体育館紙面の都合上、一位のみ紹介します。

〈親子ダブルス〉
一位 高野親子(蔵町三)
小学生初心者 シングルズ
一位 川瀬優佳(本町一)



銅賞「楽しいな、小須戸祭」川瀬綾香(小須戸小3年)

第26回「わたしの住むまち」絵のコンクール
入選者紹介(その3)

十二月五日(日)小須戸町民体育館紙面の都合上、二位のみ紹介します。

〈男子団体〉
一位 昂(新潟市)
二位 アルファークラブ(A)(新潟市)
〈女子団体〉
一位 新発田クラブ(A)
二位 OVER RIGHT(新潟市)
〈男子個人〉
一位 山信田正樹(東北電力)
二位 足利 衆(小出クラブ)
〈女子個人〉
一位 薬科玲子(新潟クラブ)
二位 望月吉子(新発田クラブ)

第14回小須戸近郷卓球大会

〈小学生ダブルス〉
一位 坂井拓斗・吉川英太郎
小学生 シングルズ
一位 吉川英太郎(蔵町五)
〈Bクラスダブルス〉
一位 土田果穂・小柳健太
〈Bクラスシングルズ〉
一位 高山あすか(蔵町四)
〈Aクラスダブルス〉
一位 石黒真貴・高野美穂
〈Aクラスシングルズ〉
一位 石黒真貴(文京町)

おめでとうございます
親子で二重の喜び...

第22回新潟県芸術美術展において、中央町3在住の坂井芝香さんと坂井清龍さんが見事、同じ書道部門で親子一揃に入選されました。なお、作品の紹介は公民館報の2月号で掲載いたします。

公民館よりお知らせ
タタミ等、入れ替えました
公民館では年末に館内(一階と二階)の畳を全て入れ替えました。

利用者からは「かおりから色から新しいものはいいいねえ」と、たいへん喜ばれています。

今後自分の家と同じように、大切に公民館を利用してもらいたいものです。

なお、あわせて一階、二階の給湯室の湯沸かし器も新品に取り替えました。

これからの寒い時期、安全に、しかも快適に使用できるように、

図書だより(新刊案内)
中央公民館
義経 宮尾登美子
大独身 清水ちなみ
みみずくの日々好日 五木寛之
ヤンキー先生のたからもの 義家弘介
山びこ学校 無着成恭
梅咲きぬ 山本一力
花へんろ 早坂 暁
乱気流(上下) 高杉 良
霧笛荘夜話 浅田次郎
藤壺 瀬戸内寂聴
八十五冊

ふれあい会館
白の月 谷村志穂
美女の不幸 遙 洋子
黒い看護婦 森 功
日本人の一大事 佐藤愛子 他十九冊

ちょこっと一言 (202)

結心こすど
私が、よさこいを始めたきっかけは、五泉市の生涯学習のよさこい教室でした。

その後よさこいの大好きな方達が集まって「華連」というチームを作り活動してきました。

そんな折小須戸町でよさこいをやりますかという募集があったのです。参加を申し込ました。閉町イベントは、中越地震で中止となりましたがこれで終わりたくないという熱い思いが皆を動かしました。



松ヶ丘 須藤富子さん

ました。
矢代田小百三十周年の誕生祝いや小須戸町と山の手の芸能祭に出させて頂きよさこいを披露することができました。

チームの名前も「結心こすど」と決め皆さんの意欲満々です。見て頂いた方から「元気がたいたね」と声を掛けてもらい「やってよかった。」と心から思いました。

これからは「結心こすど」として自分も元気に踊り続けていけたらと思っています。私もやってみたいと思う方、是非一緒によさこいをやってみませんか。

皆さん! 聞きに来てくださーい!
公民館おもしろ博士講座
「小須戸吹奏楽団・新津南高校吹奏楽部合同演奏会」

若さあふれる、素晴らしい生演奏を、お楽しみください。

日時 一月二十三日(日)
午後一時半開場・二時開演

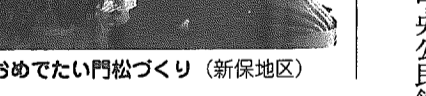
会場 中央公民館(三階ホール)
曲目 「威風堂々」「もののけ姫」
メドレー、他
友情出演 ア・カペラ ヴォカリーズ
入場料 無料
問合せ 中央公民館



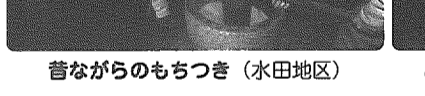
各地区のお正月の準備の様子を紹介します。



力合せて、しめ縄づくり(編出古木地区)



おめでたい門松づくり(新保地区)



昔ながらのもちつき(水田地区)

シリーズ 「今、子どもたちは」 (100)

いつでも花いっぱい
赤・白・ピンクと色とりどりに咲きほころぶペゴニアの花。小須戸小学校では、毎年一人鉢運動を行っています。今年も、二年生以上全員ペゴニアを育てました。お花の先生として地域の皆さんを迎え、苗植え・水やり・剪定などのお世話を教えていただいています。おかげで、子どもたちは、「お花に声をかけてあげると元気に育つよ。」と言いながら愛情を持って花を育てるようになりました。

また、フラワー委員会では季節の花々をプランターや花壇に植えて自分たちで育てています。サルビア・葉げいと、さくら草・チューリップ

と季節季節の草花が学校を彩っています。
このように、お花を通して豊かな心を育てるところです。

小須戸小学校
きれいに咲いたさくら草。卒業生を送る花です。

俳	句	文芸欄
申としを早く酉年迎へたい	耳すし速き母なり万年青の突	神殿に遠拝みして菊花展 関根紀男
実方両末が家継ぐ四姉妹	農具みな納めて勤労感謝の日	満天星の紅葉燃え立つ観世音 間野良遊
原人の住みし洞窟草紅葉	朴の葉の風のあるなしゆらぎ落つ	耳すし速き母なり万年青の突 吉澤文子
	やわらかな夕日に浸る醉芙蓉	坂井隆思
	申としを早く酉年迎へたい	牧野信雄
	実方両末が家継ぐ四姉妹	藤井 春
	原人の住みし洞窟草紅葉	間野 弘
		須藤恵美子
柳(備える)		保科志枝
川(題)	おでん種みんないい味備えてる	藤井春江
	保険証備えて父の旅カバン	長井武雄
	言い訳(言葉)を一つ用意する	能登としお
	万一の保険めでたく無駄になり	